

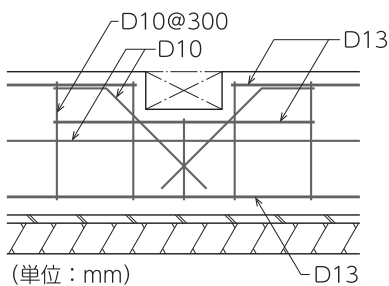
図 3-33 布基礎の仕様例

表 3-20 底盤の最小幅

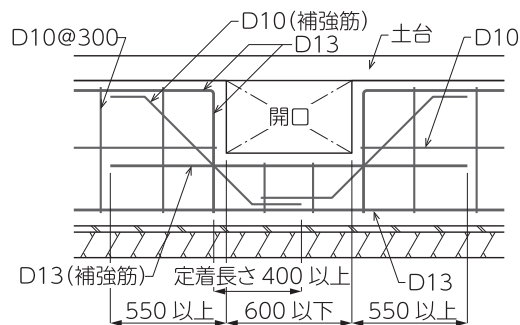
地耐力 (地盤の長期許容応力度：kN/m ²)	平屋建て (cm)	2階建て (cm)
30 ≤ 地耐力 < 50	30	45
50 ≤ 地耐力 < 70	24	36
70 ≤ 地耐力	18	24

立上り及び底盤の補強筋は、フック付きの鉄筋か、フック付きと同等以上の性能を有している住宅用ユニット鉄筋等を用いることが必要です。また、鉄筋のかぶり厚さや定着長さに配慮しましょう。

換気口や人通口まわりの補強例については、図3-34、3-35を参照してください。



注) 換気口まわりは、D13の横筋とD10斜め筋により補強する。D13横筋の長さは、500mm + 換気口の幅の長さ + 500mmとする。D10斜め筋の長さは、 $2 \times 400\text{mm} = 800\text{mm}$ 以上とする。(コンクリートの呼び強度 24N/mm^2 の場合)。



- 1) 人通口まわりは、D13横筋とD10斜め筋により補強する。
- 2) 補強用D13横筋の長さは、 $550\text{mm} + \text{人通口の幅の長さ} + 550\text{mm}$ 以上とする。
- 3) 補強用D10斜め筋の定着長さは、 400mm 以上とする。
- 4) 人通口の幅は 600mm 以下とし、設置位置は柱間隔が 1.82m 以下の下部で、かつ柱から近い方の人通口端部までの距離が 300mm 以内とする。
- 5) 柱間隔が 1.82m を超える下部に設ける場合は、構造計算を行い適切な補強を行う。
- 6) 補強用D10斜め筋の定着長さを 400mm 以上確保する代わりに、通し筋としてもよい。

図 3-34 換気口まわりの補強例

図 3-35 人通口まわりの補強例